

火山地帯の火山灰

岩石名 デイサイト質凝灰岩 Tuff
(デイサイトしつぎょうかいがん)

時代 新生代第三紀中新世

地質区分 美深層

産出地 剣淵町刈分川



解説

陸上に堆積した火山灰

火山が噴火して出てきた火山灰が固まった岩石を「凝灰岩」といいます。この地域には新生代中新世の地層である、美深層の中に凝灰岩が見られ、その多くがデイサイト質の凝灰岩です。デイサイト質というのは、石英がかなり多いという意味で、流紋岩と安山岩の中間の組成です。この凝灰岩は白っぽい色をしています。それはガラスや石英など、二酸化珪素の成分が多いことを示しています。そのような性質の溶岩を持つ火山は、爆発的な噴火をすることで知られています。例えば日本では有珠山や雲仙普賢岳がその代表です。



剣淵町刈分川の美深層

また、凝灰岩は、火山灰が空から多量に降ってきて固まるもの(fall)、火砕流として高温のまま斜面を流れ下ってきて固まるもの(flow)、いったん降下して

堆積したものがその後降雨流水で流され、別の場所で二次堆積して固まるものなど、様々なものがあります。土別周辺では土石流として堆積しているものが多いようです。

土石流とは、火山が噴火した後に、大雨などによって地表の火山灰や泥などが水を含み、巨大な岩石を巻き込みながら斜面を猛スピードで流れ下るものです。周辺にあるすべてのものをなぎ倒して飲み込んでしまう、火山災害としては火砕流とならんで最も恐ろしいものです。



土別・剣淵ICの美深層中の凝灰岩層

調べてみよう

- 凝灰岩を砕いて鉱物を調べてみよう。透明なガラスや石英の他に、角張った鉱物が見つかるかな？